

■出席者：10名 ■参加費：500円 ■3密を回避しマスク着用で行いました。

雑談

秋の気配が感じられるようになりました。昨日はクツワムシの賑やかだったこと♪♪
人間は今、全体的に行動力や思考力がジワジワと削り取られている状況ではないでしょうか？
それは、例外なくみんなが関わり合って一緒に生きている証拠でもあると思います。
ここは、森劇！ひと踏ん張りするところだなー、と感じます。

本日の内容

1. 創作活動：空間を共有して、自分以外のものとの感じ合うことが大切じゃないかな？
2. 活動の報告と共有
3. 里山ばんざい芸術祭について

2. 活動報告

・4/22———津市文化創造委託事業中止が決定

*自治体の、文化事業一律中止という考え方には疑問を残したままです。
このような上からのお達し待ちといった仕事内容で豊かな地域づくりは
できないということに、新型コロナウイルスとの出会いをきっかけに
みんなが気づき、考え、整える機会にしたいものです。
本当の意味で、多様化共生や持続可能な社会とは、人も植物や動物のように一人一人自
分に責任を持ってたのしみながら人の持つ能力を使いこなしながら生活するということ
ではないでしょうか？

・6/27———森劇プロジェクト活動説明会開催

*新しく6名の方がメンバーとなってくれました。嬉しかったです。
子ども里山そうそう学校経験者から2名、大人も里山そうそう学校経験者から1名、メ
ンバーからの紹介2名、文化事業関係者1人です。
森劇のメンバーとは、会費を納める賛同者とか社会貢献的活動をする人という前に、一
人ひとりが楽しく気持ちよく生きようとし続ける（プロ市民ともいえると思います。）と
いったことが大切です。
単純に、頑張ってる誰かに出会うと勇気が出てくる、といった空気が巻き起こることが基
盤に必要です。
それは目に見える頑張り屋さんとは違い、迷っている人・探している人、、、といったこ
とに結びついたりもします。そうそう（想像×創造）時間を持っている人・・・とか。
フットだったこととしては、活動説明会（例年4月）や総振り返り会（例年3月）には、
出席する努力をしてもらいたいということでした。→運営から呼びかけていきます。
どんなことのためにこの集まりがあるのか???割とわからなくなってしまうがちです。
一人ひとりの意識が大切な活動グループです。

・7/9日～———ばんざいミーティング活動スタート（芸術祭実行委員会）（おおよそ第2木曜日/毎月）

- * 別紙で報告
 - * 興味のある方、単発での参加も大歓迎です。次回9/10です。
 - * 12月4日（金）・5日（土）・6日日本番（日）、どうぞ協力ください。
- ↳ コロナ対策など理解者の運営人数が必要です。運営協力をお願いします。

・7/11～—— **山の風 club 活動スタート** (大体第2・第4土曜日/月 14:00~15:30)

◆大人の活動(大人も里山そうそう学校の中の、舞台活動クラブ)

*今年度メンバー6人。メインとして、和太鼓にチャレンジすることになった(^.^)。

どうぞ、陰ながらの応援をお願いします(*^-*)。

・7/12 —— **山歩き発見クラブ** (不定期)

◆森劇プログラム経験者を対象(大人も里山そうそう学校の中の、自然活動クラブ)

*悪天候のため中止とした。

●次回、9月13日(日) 残席1! よかったら一緒に歩きましょう●

・7/18 —— **(仮) 子ども里山卒業生活動スタート** (不定期)

*初回は、アスト津レクリエーション室にて集まりを持ちました。6人参加

12月の芸術祭で何か作って売ってみたいといった意見が出ました。

↓

*8/12に森松さんが案内役となって、オリジナル T シャツづくりを体験しました。

4人参加。別紙参照。

*不定期に、森劇から提案したり、子どもたちからの主体的な活動の要望があれば、大人全体で必要なサポートはしていきたいと考えています。



7月18日(土)



8月12日(水)

・7/19 —— **子ども里山自然体験教室 “川と遊ぶ”**

◆今年度特別のプログラム(経験者対象・少人数制・単発)

*川の水量多く中止とした。

・7/23 —— **子ども里山自然体験教室 鈴木牧場①** (全4回)

*子ども達9人と、大人スタッフ3人で訪問

牧場の鈴木雄大さんから、牛たちは芝が大好き、それでこの山を芝生の牧場にしたい。

どんな植物も種が始まり、でも芝の種は殻が硬くてそのまま撒いても発芽しにくい。

そこで芝の種を収穫し、小麦粉とこねて牛のおやつを作り、牛に食べてもらい

牛の身体を通して土に返し、発芽しやすくするという方法をみんなで体験させてもら

った。(子ども達へのプレゼントメニューですね.....しかし、牛との距離も一気に縮まったし楽しかったー\(^o^)/

*山地酪農.....第一次産業としての酪農、山と牛と人が同等に幸せに生きる酪農と言えると思います。 その大変さ、その豊かさ、その気持ちよさを肌で感じられる活動だと思いました。

●当日参加スタッフより感想: 良い時期に(年齢)、全身で実感して知ることが本当に大切と感じた

当然あるべき姿として、虫が多いのも、牛が目の前でうんちしても、子どもたちは興味深く見入っていた。



芝の種団子づくり(*^-^*)



牛は食べてくれるのか???



昼からは、それぞれ気の向くまま(^)/



いつか、長くつも脱ぎ捨てて、素足！気持ちいいね！

・7月25日—— 子ども里山舞台表現教室スタート (第2・第4土曜日 17:00~19:00)

◆ 他に、11月限定の教室あり

*子ども達のそうぞう活動というよりも、今回は作品作りにポイントを置きたいこと説明しスタート。

能楽の仕舞「人間五十年」、どんど火の踊りに真摯に向かい合ってほしい。

♡ 練習の中、自身の発想をそのまま伝えてみることへの躊躇はなくなってきている good。

●大人スタッフより：問いかけに、頭も体も使って即座に反応できる、すごいなあと毎回驚かされる。



早くスタートを切れるこのメンバーは、基本的なトレーニングを大事にしていきたいと思います。

・森劇スタディー予告・・・9月24日(木) 10:00~12:00 場所は改めて連絡します。

東尾由美さんからの投げかけ♪

(仮題) “自分の住む地域の防災を通して、なにかいいことできないか?”

少し相談を受け、良いことを考える練習になるような気がしました。

(^)/

良いことが起こるようなことを考えるのは、楽しいことだと思いました。是非参加ください。

3. 里山ばんざい芸術祭について

【2020年度 「里山ばんざい芸術祭」に実施を予定する、市民創作劇について】

8月6日現在

◆ コロナ禍における今年度の舞台創作 ◆

里山ばんざい芸術祭オリジナル作品「コノ村『山神』伝」(脚本：西田久光)をモチーフに、
一時間弱の作品 「ふるさと ～うちの好きな山^{やまのかみ}神さん～」と題し

生きる地域がある幸せや安心、自然と仲良く暮らしていく気持ちよさをメッセージしたいと思
います。

ー 主な制作協力者 ー

全体責任者：長野多恵、 音楽担当者：伊藤知子、 衣装・美術担当者：笠松智子

能楽場面責任者：長田^{あきら}郷、 太鼓責任者：内田和代、 一般歌唱指導：川合俊平 他

【 現時点での大まかな作品内容 】

場面1.	深い森の幻想	洋舞踊
場面2.	導入	ナレーション
場面3.	春祭りに向かう道行	マイム
場面4.	春祭り	芝居、どんど火の踊り
場面5.	コノ村の山神さんとアノ村の山神さん	芝居
場面6.	春～夏～秋 日本の四季	スライド
場面7.	山神さんと子ども達	芝居
場面8.	秋のお祭り	奉納芸能
場面9.	別れ、コノ村遺産	芝居
場面10.	「ふるさと」ささやき全員合唱	鑑賞者参加で

*市民文化祭洋舞フェスティバルとコラボ開催とします。

【 場面8. について（「コノ村『山神』伝」には無い、今年度特別な場面） 】

元脚本に「神は人の敬いによって威を増し、人は神の徳によって福を添う」という山神のセリフがあります。
今現実問題として、人の生活に関わる大切な小さな地域単位でのまつりは、どんどん無くなってきています。
今年の芝居の中に出てくる村でも、秋祭りは取りやめにしている設定ですが、子ども達が秋祭りを復活させ
るといふ場面を創りたいと考えました。

そして、このことは今後の芸術祭や、地域での神事で、活かしていける方法を探したいと考えます。

【現段階でのばんざいチーム（芸術祭実行委員）】・・・まだまだ募集中!(^^)!

市川景子/伊藤知子/小川由子/笠松智子/須賀優子/深田亜季/長野多恵（責）/森松千恵

本日のメイン題目お知恵を拝借したい***

今年ならではの！舞台以外にできること！！

*ばんざいチームミーティングや他聞き取りをまとめてみました。

今年の芸術祭コンセプト『ーからはじめよう』です。

ちなみに昨年は『白』『質の良さ、カラダにもココロにも良いモノ』

●12月4日（金）・・・・・・9：00～15：00位

①

・演奏会や発表会が開催不能になったグループや、個人に舞台を提供
森劇メンバーが観客になったり、使用後の消毒をしたり・・・・・・

30分×6組くらいに、.....

・ピアノ？、綴帳？、照明？、拍手??

♡元気出るんじゃないかな？

●12月5日（土）は、AM舞台の仕込み、PM「ささやき合唱のWS：川合先生、夕方～作品舞台稽古

●12月6日（日）は、朝からゲネプロ、 14：00～本番、

●ギャラリー他：今年度の森劇活動に関わってくれた人をピックアップ☆『夢』☆を取材

↓

その夢、ほんの少し応援した森劇活動を周知、来年度の活動宣伝

↓

②

近江商人の三方良し活動みたいだ。

（例として）鈴木牧場さんの山地酪農を取材

鈴木ファミリーの夢・・・人が地球の一生物として果たしていく役割

参加者を元気にする・・・自分が良い！やりたいと思うことを実践し、

山のため、牛のため、人のため、自分のためになれる。

（その他）芸術関係者：長田さんの能楽、川合さんの合唱、長野の森劇の夢・・・・・・

地域の達人：井谷さんの里山のこと、内藤さんの自然治癒力、原林さん・・・・

♡夢に気持ちがいくと、心が和らぐんじゃないかな？

●中庭：みんなでする身体活動・・・・竹をたくさんぶら下げて心地よい音が出るようにする。

↓

神事の準備みたいにみんなのできるここといいな。

1Wくらい会館に交渉して、当番制で活動呼びかけたり??

七夕みたいに、自分の夢を飾ることができるようにしたり・・・・

③

本番後、獅子舞・・・・とか？ 何かを少し待つ時間イイネ☆

♡何かに携わったという満足感や、ポジティブなことを文字にしたり
するだけでも元気が湧いてきたりするんじゃないかな？

●ショップ：小川さん & 卒業生グループ

●おいしさの原点：無理かな・・・・?・・・・④

●その他・・・・⑤

（注）次回のばんざいミーティングまでに予算概要を出してみたいと思います。



【そっと(^-^)創作活動 de 気分転換】

マインドフルネス深呼吸から
そっと(^-^)レミゼの“民衆の歌”サビの
部分を合唱。
フェイスシールドで、他者に声が聞こえ
にくいけど、意識して聞いてみよう！
みんなで今この空間で起こっていること
に意識を集める！ やはり一人では
得られない体温が生まれる。
工夫しながら、短時間でも楽しく協力し
合える活動をちりばめていきたい。
(^-)🎵(^-)🎵

【2つのグループに分かれて、芸術祭で共有したい空間づくりについて雑談しました。】

(ギャラリー空間の使い方)

- 長くなってきているコロナの閉塞感や漠然とした不安感というストレスを感じる。
- 目標が定まってくると、やる気元気が出てくる。

これらの意見から

↓

- 経済や効率に偏った今までの社会から、これからの生き方を考える機会になる活動の提案はできないか？
- 便利になりすぎ、自然環境と分断された生活から、生きる環境を思い起こせるような活動の提案はできないか？

↓

今年度、森劇がお世話になった団体や個人の生き方考え方を紹介し、その大きな夢の実現にほんの少し関わらせてもらえるような企画を相談して作り出す。

♡ それは、自分を元気にし、自然環境にもお世話になる人の夢にもほんの少し貢献できるような活動にしたい。

(中庭空間の活用)

- 竹や樹といった自然からいただけるもので、気持ちいい音が出せるモノをつくるのはどうか？
- 来場いただいた方々も自由に音を出してみることができるように。

♡ 同時に複数の人が音を出すと、想いもよらない素敵なハーモニーができたりするのかな(^.^)🎵

即興的同意のないコラボ🌟誰かが踊ってくれてもいいね🌟

↓

9月10日(木) 10:00～ 大三公民館での

ばんざい\(^o^)/ミーティングで、整理します。 ありがとうございます。